

2024年 新年挨拶



昨年の出来事…野球が大いに盛り上がったのではないのでしょうか。WBC、日本が14年ぶりの優勝、夏の甲子園で神奈川県代表の慶応義塾高等学校が107年ぶりの優勝、阪神タイガースが岡田監督就任1年目で日本一、『アレ(A.R.E)』が流行語大賞にもなりました(全日本女子硬式野球選手権でも阪神タイガースWOMENが優勝しました)。世界では1年以上続くロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルによるガザ地区封鎖、スーダンで武力衝突、トルコ・シリアでM7.8等(モロッコM6.8)、紛争・自然災害による人的被害が多くみられ、どれも、未だ解決、復興の目途がなく、被害にあわれた方々へのご冥福をお祈りするとともに、即時の停戦と早期の終結を願うばかりです。

そして5月8日に新型コロナウイルスが5類に位置付けられ、感染対策は個人や事業者の判断となり、各方面のガイドラインは緩和・廃止となりました。完全な収束にはまだ時間がかかりそうですが、ようやくコロナ禍以前の活動が可能となり、日本中が活気に溢れてきました。本当に喜ばしいことです。神奈川県合唱連盟でも、全日本や県立音楽堂のガイドラインが廃止(制約はまだ有り)され、6月合唱祭での『合同・成果演奏』の復活、8月のコンクールから『リハーサル』『更衣』を再開することができました。今後執り行われる各事業も、コロナ禍以前の開催方法に少しずつ戻す事が出来そう

です。県立音楽堂と協議し、検討して、より充実したイベントとなるよう努めてまいります。

2024年問題として物流の『働き方改革』が上がっておりますが、学校の『働き方改革』『部活動の地域移行』問題もあります。『子供たちのため』でなく、公的な理由による対策に偏り、このままでは合唱を愛する学生たちの活動の場がなくなるだけでなく、合唱をする生徒そのものを失いかねません。更に、有能な若い指導者の活動の場もなくなり、『合唱』そのものの存続が危うくなってしまいます。こういった危機に陥らないよう、県合唱連盟として働きかけ、会員の皆様と共に合唱の裾野を守っていく所存です。

今年の9月には「第79回関東合唱コンクール高等学校部門・中学校部門」が、神奈川県民ホールにて神奈川県連主催で開催されます。各県を代表する学生さんたちが実力を遺憾無く発揮できるよう、県連総力を挙げて運営に臨みたいと思います。

2024年、更に多くの団体が合唱事業に参加されることを願っております。あわせて、神奈川県合唱連盟に所属するすべての皆様とご家族の皆様のご健康とご多幸を祈念いたします。

神奈川県合唱連盟 副理事長 杉山 範雄

◆第78回関東合唱コンクール

第78回関東合唱コンクールは、9月16日(土)に高等学校部門、17日(日)に中学校部門が茨城県の水戸市民会館グロービスホールにて、10月8日(日)に大学職場一般部門が群馬県の昌賢学園まえばしホールにて開催されました。

本県からの出場団体の審査結果は以下の通りです。

中学校部門 同声合唱の部

金賞 清泉女学院中学校音楽部(代表)
横浜市立大綱中学校合唱部(代表)

中学校部門 混声合唱の部

金賞 横浜国立大学教育学部附属鎌倉中学校合唱団

高等学校部門 Aグループ

金賞 清泉女学院高等学校音楽部(代表)
神奈川学園中学・高等学校女声合唱団
神奈川県立海老名高等学校合唱部
銀賞 日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ

高等学校部門 Bグループ

銀賞 神奈川県立湘南高等学校合唱部
銅賞 桐光学園高等学校合唱部

大学職場一般部門 大学ユースの部

金賞 湘南ユースクワイア

大学職場一般部門 同声合唱の部

銀賞 湘南はまゆう
銅賞 Chor Crenata
Healing Friends

全国シード La Pura Fuente(代表)



◆第76回全日本合唱コンクール全国大会

第76回全日本合唱コンクール全国大会は、10月28日(土)に高等学校部門、29日(日)に中学校部門が香川県のレクザムホールにて、11月25日(土)26日に新潟県のりゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館にて開催されました。

“清泉サウンド”の3団体、清泉女学院中学校音楽部、清泉女学院高等学校音楽部、La Pura Fuenteは、出場したそれぞれの部門において最高位の文部科学大臣賞を受賞されました。La Pura Fuenteはシード団体として来年度も全国大会に出場されます。これからもますますのご活躍をお祈りいたします。

本県からの出場団体の審査結果は以下の通りです。

高等学校部門 Aグループ

金賞 清泉女学院高等学校音楽部(文部科学大臣賞)

大学職場一般部門 同声合唱の部

金賞 La Pura Fuente(文部科学大臣賞)

中学校部門 同声合唱の部

金賞 清泉女学院中学校音楽部(文部科学大臣賞)
銀賞 横浜市立大綱中学校合唱部



◆お詫びと訂正

カノン123号5ページ掲載の「第66回神奈川県合唱コンクール審査結果」に誤記がございました。相模女子大学中学部高等部合唱部の審査結果は**銀賞**です。相模女子大学中学部高等部合唱部のみなさまにはご迷惑をおかけいたしました。大変申し訳ございませんでした。



今年度、数少ない3年生たちと考えた『合唱懸命』というスローガンのもと、日々の活動に取り組んできました。今回、全日本合唱コンクール全国大会に、関東支部代表として初出場させていただき、多くの方の支えもありながら、銀賞を受賞することができました。応援いただいたみなさま、本当にありがとうございました。ありがたいことに、春には多くの新入部員が入部し、一時はどうなることかと思いましたが、上級生たちの頑張りや様々な経験を通して、少しずつ曲が形になっていったように思います。関東・全国大会と、ともに初出場となり、周りのレベルの高さに怯えながらも、「私たちにできる1番の合唱をするしかない!」と部員たちと心を合わせ、日本最高峰の舞台に挑むことができました。演奏終了後は、清泉女学院さんのおかげさまで、表彰式前に客席での「歌回し」にも参加させていただき、部員たちは大喜び! 讃岐うどんや瀬戸大橋の思い出もあわせて、とても充実した香川遠征になりました。今回の経験をこれからに生かして、今後とも『合唱懸命』に様々な機会に取り組んでいきたいと思えます。 横浜市立大綱中学校合唱部 西川 翔

〈世界中の方々が、たとえ苦難の中にあっても希望の光を見いだせるように〉という祈りを込め、M.Regerの“Er ist's”と、J.Elberdinの“Cantate Domino”を選曲しました。新体制になってはじめてのコンクールでしたが、県大会では、スタッフの方々の暖かいサポートやお声かけがとて心強く感じられました。関東大会前は感染症による苦難を強いられましたが、全国大会では歌声に込められた祈りがホールに包まれるように立ち上がり、時に力強く、時にリズムカルに、演奏の喜びを全身で感じることでできる幸せな時間となりました。大綱中学校の皆様とは香川でも順番が前後で、緊張する生徒達が本番直前の舞台袖で励ましあうように手を振りあっていた光景は本当に微笑ましく、神奈川県を感ずる胸が熱くなる瞬間でもありました。素晴らしい機会をいただきましたこと、また、応援いただきましたこと、改めて感謝申し上げます。有難うございました。 清泉女学院中学校音楽部 佐々尾 優佳



今年の合言葉は『目指せ! 讃岐うどん』。高松市のレクザムホールから見える瀬戸内海の穏やかな輝きは、皆の忘れられない光景となりました。コロナ明けの今年度、久々に大作に取り組みたいと信長貴富先生に委嘱、5月下旬に賜った作品は、I部がスペイン語(清泉の母体はスペインの修道会)、II部は信長先生ご自身が翻訳された日本語で、8声部から12声部にわたり音域は3オクターブ近く、各パートのリズムが微妙に食い違うという難曲でした。テキストは南米初のノーベル文学賞受賞者のガブリエラ・ミストラル、神が慈愛を持って世界を揺らす様を波と風の情景で描き、母が我が子を優しく揺らす愛情へと昇華させる奥深い曲でした。今年度から中学校の指導を若手顧問に託し二人三脚での指導、練習時間が以前よりしっかりと確保できたため、この壮大な信長作品を全国大会では楽しんで歌うまで高めることができました。不安定な国際情勢の中、平和な世界を築く力を持てますようにと、祈りと熱い願いを込めてホールいっぱいになり、金賞・文部科学大臣賞を受賞、晴れやかな生徒の顔が眩しい表彰式となりました。社会の不条理から目を背けず、合唱を通して皆様に幸せの光をお届けできるよう、今後も活動して参ります。合唱連盟の方々、そして神奈川県の皆様、温かな応援をありがとうございました。 清泉女学院高等学校音楽部 佐藤 美紀子

La Pura Fuenteは先日の全国大会同声合唱部門において、金賞と文部科学大臣賞を受賞いたしました。素晴らしい賞を頂くことができ、団員一同大変光栄に思います。課題曲の〈街路灯〉では、詩に沿った音楽を自然に歌うことを意識して演奏しました。自由曲は11月初旬に出場したトロサ国際合唱コンクールでも演奏した、土田豊貴先生作曲〈Kyrie〉(女声合唱初演)と松下耕先生作曲〈音戸の舟唄(広島県民謡)〉の2曲です。初期教会音楽のアンティフォナのイメージをもつ1曲目では、“清泉サウンド”に祈りの気持ちをのせて、2曲目では、どっこいの掛け声と合唱部分の差を意識した歌声で演奏しました。演奏後は教会と広島海、全く異なる2つの光景をりゅーとびあの広い空間に描いた達成感を味わうことができました。日頃よりご支援いただいている合唱連盟並びに関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。美しい女声合唱をお届けできるよう日々精進して参りますので、今後ともよろしくお願いたします!



La Pura Fuente 下澤 歩美

第29回ヴィサン《人生百歳》

ジョイント・コーラスフェスティバル

2023年11月16日(木)に第29回ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバルが、横浜みなとみらいホール・大ホールにて開催されました。心配されたコロナは少し落ち着いたものの、新たにインフルエンザが大流行し、残念ながら1団体辞退がありました。昨年より6団体多い全31団体、初参加5団体、90歳以上の参加者8名、総勢597名の参加者に恵まれました。5月にコロナが5類に引き下げられ、参加団体より要望が多数寄せられた更衣を復活、4年ぶりとなる従来の動線での運営、スタッフも48名体制で実行委員は一層気合いが入りました。講師には指揮者の安達陽一先生、作曲家の松波千映子先生をお迎えし、講評とエフォル賞(講師賞)の選考をお願いいたしました。今回、更衣の要望が多

かっただけあり、それぞれ曲に合わせたコスチュームで登場され、華やかに時にはコミカルに舞台を演出し、大ホールの素晴らしい響きと共に、どの団も素晴らしい演奏をご披露くださいました。今回が参加20回目となる団体には感謝の意を込めてヴィサン・ルパン賞を贈呈、初参加の団体には記念品を、90歳以上の参加者には舞台上で花束を贈らせていただきました。今回、客席にお客様が少ない状況での開催となってしまいましたが、参加団体がお互いに聴き合えるフェスティバルとなるよう努めてまいります。次回は2024年11月14日(木)みなとみらいホール・大ホールにて、第30回ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバルを開催いたします。皆様のご参加、お待ちしております!

ヴィサン実行委員長 杉山 範雄

ヴィサン・ルパン賞(参加20回目)

新老人の会コールバンダナ&コールアマカ

エフォル賞(講師賞)出演順

Aブロック

男のコーラス・ドッグウッド コール・コサーージュ
 じゃおグリーンクラブ コーロ・しるふれい
 グリーンベル女声合唱団

Bブロック

ザ・リタイアリーズ&名前のない合唱団
 福女こら合唱団
 グリーンフラッシュ
 緑フラウエンコール

◆初出場

ラ・コロラーレ◆ 男声合唱団ひびき
 アンサンブル・ピノ 女声合唱団「松」
 高津市民合唱団
 フラウエンコア・ヴォンネ◆

ヴィサン・フェスティバル賞(講師賞)出演順

Aブロック

旭混声合唱団 フォレスト・エコー
 鎌倉湖畔コーラス ゴールド・フレンズ
 新老人の会コールバンダナ
 &コールアマカ

Bブロック

コーロ・セレーナ
 ヴォーチェ・ムジカーレ
 男声合唱団フロイデ
 しほみコール

◆初出場

こーろ・ぱれっと◆ アンサンブルMIMI
 コールカルミア◆ クワイア・ジョイ◆
 おたまじゃくしの会 シーサイド・グレイスフル・シンガーズ
 JIRA男声合唱団

インタビュー

◆「男のコーラス・ドッグウッド」副代表 横山泰弘さん

総勢58名の男声合唱団です。90代が二人在籍、それぞれ23年、28年歌い続けています。練習日は毎週月曜日の午前中。月曜日は一週間のスタートの日、リタイア後もこの週の始まりの日に出かけるころがあると生活にリズムが生まれ、元気でいられます。

◆こーろ・ぱれっと(初参加)

・13年前、森永淳一先生のもと創団。今は川崎の連盟に所属していますが、来年は県連に加盟したいと思っています。本日は6名の参加、みなとみらいホールは緊張しますが、本番のステージを経験したく、楽しみにしてまいりました。

◆ラ・コロラーレ(初参加)

・5年前活動を始めたころは参加資格制限がありましたが、今回は満を持しての初参加です。
 ・2024年3月の演奏会に向けて舞台度胸と演奏経験を積むためにも参加しました。
 ・みなとみらいの大ホールという夢のような舞台上で歌えたこと、大変嬉しく思います。



男声合唱団ひびき



実行委員の皆さん



メサイア、新たなる挑戦



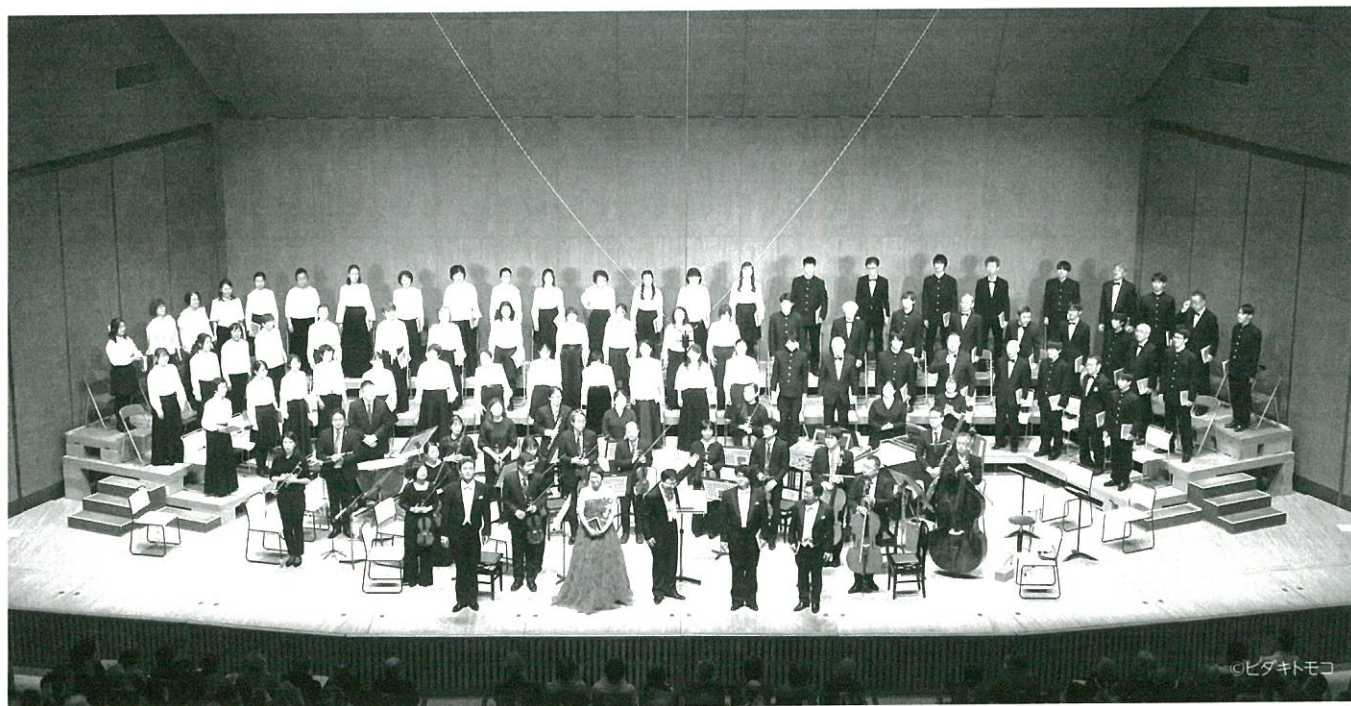
第56回クリスマス音楽会「メサイア」全曲演奏会が、2023年12月10日(日)に県立音楽堂で開催されました。指揮者が大塚直哉先生に代わり、2回目の演奏会でした。音楽堂のガイドラインで、昨年は舞台上の合唱人数が36人でしたが、今年は65人まで拡充されました。当日は39人の大人が全曲を歌い、未来プロジェクトの高校生(湘南高・多摩高・法政二高)は、1部・2部・3部と歌い手を変えて各部26人で歌いました。そして演奏後に客席の両サイドも使い、全員でアンコールのハレルヤを演奏できたことはとても感動的な舞台となりました。

練習ピアノは山部陽子先生と織田祥代先生に加え、榮萌果先生が新たに参加され、発声指導を理事の土屋結乃先生、福王寺佑子先生にお願いしました。また、未来プロジェクトの特別講座では、ソプラノリストの藤崎美苗先生、ピアニストの武藤聡里先生にもお世話になりました。

使用楽譜はこれまで使ってきたノヴェット版からバーレンライター版に移行してゆくべく、細かく楽譜を修正しながら取り組みました。リズムも複付点音符を付点音符に変えるなど、大きな変化の年ということで大変だったことを思い出します。

来年は指揮者の大塚先生の暖かく深みのある音楽と、声に対する高度な要求をより実現するために、精一杯取り組んでまいりますので、志ある方のご参加をお待ちしております。

神奈川県合唱連盟理事長 岩本達明



指揮：大塚 直哉

ソプラノ：藤崎 美苗

アルト(カウンターテナー)：青木 洋也

テノール：中嶋 克彦

バス(バリトン)：萩原 潤

チェンバロ：廣澤 麻美

オルガン：徳田 佑子

管弦楽：神奈川県フィルハーモニー管弦楽団

合唱：神奈川県合唱連盟

音楽堂「メサイア」未来プロジェクト

合唱指揮：岩本 達明

合唱指導：杉山 範雄

*未来プロジェクト参加校：県立湘南高等学校

県立多摩高等学校

法政第二高等学校

ユース・コーラルフェスト2023

昨年、12月7日（日）清泉女学院講堂にて、「ユース・コーラルフェスト2023」を開催いたしました。テーマは「三善晃のリリズム」、講師には三善晃先生の一番弟子でいらっしゃる鈴木輝昭先生をお招きしました。このテーマはCOVID-19以前から企画されていたものの、練習量や部員数が減った状態では三善作品の演奏は難しいと延期され、4年ぶりに実現したものです。まだまだ厳しい状況の中をご参加いただきました生徒の皆様、そしてご指導いただいた指揮者、顧問の先生方に感謝申し上げます。

演奏された12団体の抒情的な調べ、熱のこもった迫力ある音圧、少人数の純度の高いサウンドなどの個性的な演奏に対して、鈴木先生の細やかで具体的なご講評、三善作品の特徴、原風景についてのお話をいただくことができました。推進力をプラスするためには「Allegroというテンポを日本の合唱界に引き入れたのは三善先生が初めて、テンポ作りを明確に！」。音楽性の向上を目指すためには「本質的な意味の人間が本来持っている品格が大切、コントロールしながら本当の意味での質の高い音楽の表現

を」、そして合唱をする私達が忘れてはいけない言葉と音のバランスについては「三善先生は作詞者のように、音を音の言葉として書かれている」などの貴重なコメントをいただきました。言葉に振り回されず音の純度を追求することで、三善作品、そして鈴木作品を表現できることを再確認できるお話でした。

最後の全体合唱は4年ぶりにステージ上と客席前方に生徒が集まり、「クレーの絵本」〈幻想喜歌劇「船乗り」から格闘の場面〉を鈴木先生の指揮のもと、鈴木あずさ先生の伴奏で大合唱！！感動的なひと時でした。鈴木先生の熱意溢れるご講話と校庭のクリスマスツリーの平和を祈るかのような温かな輝きが、参加者皆様の心に残る1日であつたらと願っております。

最後に鈴木先生ご夫妻が会場の皆様に話されたメッセージをお届けします。私達が合唱を続けていく、そして人生を生きていく上での指針としていければと思います。

ユース・コーラルフェスト実行委員長 佐藤 美紀子

輝昭先生より

三善先生のお言葉をいくつか紹介させていただきましたが、合唱という限られた枠の中で捉えるものではなく、音楽や芸術全てに関わることとして受けとめて頂けたら幸いです。合唱から音楽へ、音楽から人間へ、人間から人類・地球へ、宇宙へと視野を広げていってほしいと思います。

あずさ先生より

今日の素晴らしい演奏を聴かせていただき、改めて三善晃は本物の作曲家なのだということ、本物を見て知って、それを実現することが大切だと思いました。「小さな針の穴を持つこと。その穴が小さければ小さいほど世の中のいろんなものが見えるようになる」と三善先生が仰っていたことを思い出しました。



講師 鈴木輝昭先生(鈴木あずさ先生)



合同演奏



勉強会

コンサートガイド

<p>2024 2/12 (月・振休)</p>	<p>合唱団インテグラルズ 等 ジョイントコンサート ―合縁奇縁―Vol.1 14:00～ 海老名市文化会館大ホール 入場料：1,000円 お問合せ：CloverLovers01@gmail.com 合唱指揮者：今井祐之の指揮する団体による合同演奏会です。今回は比較的年齢層の若い団体で行います。</p>
<p>3/9 (土)</p>	<p>JOYシンガーズ 7th Concert 14:00～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料：1,000円(全席自由) お問合せ：飯野 045-543-3008 指揮：安達 陽一 ピアノ：秋野 淳子 6年ぶりに演奏会を開催します。花にまつわる色んな曲を演奏致します。</p>
<p>4/2 (火)</p>	<p>グロリア少年合唱団 第60回定期演奏会 16:00～ 鎌倉市生涯学習センターホール 入場料：1,500円(中学生以下500円) お問合せ：松村 045-825-0522 幼稚園から高校生まで全学年が出演する定期演奏会。未就学の方も楽しんでいただける曲を集めて開催します。</p>
<p>4/27 (土)</p>	<p>アンサンブルMIMI 第6回演奏会 14:30～ クアーズテック秦野カルチャーホール 大ホール 入場料：1,000円(全席自由) お問合せ：内海 090-9104-6493 chorusmimi118@gmail.com 指揮：斎藤 三和子 ピアノ：鈴木 真澄 「ちよこれいと」「日本抒情歌曲集」ポップス♪アラ・カルト他</p>

お知らせ

☆新連載『合唱を愛するひと探訪』が始まります！

2013年7月（82号）からスタートしたりレーエッセイ『指揮者のここだけの話』は、2023年10月（123号）まで10年間にわたって連載いたしました。長い間ご愛読いただき、ありがとうございました。執筆してくださった42人の指揮者の皆さまにも改めて感謝いたします。2024年度より新しい連載『合唱を愛するひと探訪』が始まります。合唱は人が集い声を合わせて歌う営み、その文化が続いているのは集まる人たちの思いが原動力となっています。歌うひと、支えるひと、創るひと、様々な立場で合唱に携わるひとたちにスポットを当て、インタビュー形式でお話を伺っていく企画です。“合唱はいいものだね”という気持ちをみなさんと共有出来たらと思います。どうぞお楽しみに！！

☆コンサートガイドの掲載はホームページに移行します！

カノンに掲載している無料コンサートガイドは、2024年度春号より県連ホームページへの掲載に移行します。申し込み受付次第、随時掲載となりますので、年4回の掲載よりずっとタイムリーにお知らせすることが可能になります。申し込み方法は次項の掲載要綱をご覧ください。尚、カノン誌上には後援申請のありましたコンサート情報（名称、日程、開演時間、会場）を掲載いたします。

☆コンサートガイド掲載要綱☆

◆コンサートガイド掲載要綱（無料、県連ホームページに掲載）

下記の項目について記載の上、kanagawakenren@nifty.comまで電子メールでお送りください。

メールのタイトルを「コンサートガイド掲載依頼」としてください。

①合唱団名 ②演奏会タイトル ③開催日、曜日、開催時刻 ④会場名 ⑤ホームページのURL

⑥問い合わせ先(お名前、電話番号、電子メールアドレス)

⑦演奏会内容(指揮者、伴奏者、曲目等[50字以内])ホームページがない場合のみ

◆有料広告（カノンに掲載）

ご希望のサイズで版下原稿をお送りください。(未加盟団体は倍額となります)

●1/4サイズ(W182×H65mm)5,000円 ●1/2サイズ(W182×H130mm)10,000円

●1ページ(W210×mm)20,000円

カノン発行日	春号 4月10日	夏号 7月10日	秋号 10月10日	冬号 1月10日
原稿メ切	2月28日	5月31日	8月31日	11月30日

神奈川県合唱連盟の今後のイベント予定(2024年1月～2024年12月)

- 第26回かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト 2024年1月20日(土)・21日(日) 神奈川県立音楽堂
- 第46回神奈川県合唱フェスティバル 2月11日(日・祝) 神奈川県立音楽堂
- 第42回神奈川県ジュニア合唱祭 3月31日(日) 清泉女学院 講堂
- 第47回全日本おかあさんコーラス神奈川県大会 4月20日(土) 神奈川県立音楽堂
- 2024年度定時総会 5月18日(土) かながわ県民センター
- 第67回神奈川県合唱祭(4日間) 6月 8日(土)・9日(日) 神奈川県立音楽堂
6月22日(土)・23日(日) 神奈川県立音楽堂
8月17日(土)・18日(日) 神奈川県立音楽堂
- 第67回神奈川県合唱コンクール
(第79回関東合唱コンクール神奈川県大会) 9月21日(土)高校・22日(日)中学 神奈川県民ホール
- 第79回関東合唱コンクール(高等学校・中学校)
(第77回全日本合唱コンクール関東支部大会)
- 第30回ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバル 11月14日(木) 横浜みなとみらいホール 大ホール
- 第57回「メサイア」演奏会(主催:神奈川県立音楽堂) 12月15日(日) 神奈川県立音楽堂
- かながわユース・コーラルフェスト2024 12月予定 未定

編集
後記

昨年は、ようやく今まで通りの練習やいつものイベントが戻ってきた1年だったと思います。目標を持って過ごすことの大切さも改めて身にしみました。歌える喜びがさらに広がる年でありますように。

編集長 青山 道代

神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon カノン」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会
発行責任者 岩本 達明 編集責任者 青山 道代

神奈川県合唱連盟・事務局

〒231-0021 横浜市中区日本大通15 横浜朝日会館4階

TEL: 045-681-6033 FAX: 045-662-5119

スタッフ常駐: 平日: 月火木金(休祝日を除く) 12:00~16:00

URL <http://kanagawakenren.la.coocan.jp/>

e-mailアドレス kanagawakenren@nifty.com

